

バウビオロギー建築を訪ねる at 宮城

昨年、第34回定例会にて、お話しを伺ったバウビオロギーを考えて作られた「手のひらに太陽の家」に宿泊し、バウビオロギー建築の素晴らしさを体験したいと思います。

それに加え、仙台を中心として活躍されている建築家佐々木文彦氏の作品と、人の健康と環境を考えて家造りをしている工務店、サスティナライフ森の家の施工例を見学させていただき、多くを学びたいと思います。

佐々木文彦氏は、北上のご自宅が津波の被害に遭われ、現在、多くの仲間たちと、復興にむけた活動もされています。

手のひらに太陽の家は、おもいきり外で遊べない福島の子供達に、のびのび遊んでもらいたいと建てられた家です。

忘れてはいけない3.11。

この見学会は、一部、被災地支援でもあります。

皆様に多くを学ぶと同時に被災地の現状を知っていただければと思います。

是非、ご参加ください。

日時：2014年10月24日（金）・25日（土）

集合：10月24日（金） 11：00 仙台駅 2階 ステンドグラス前

（新幹線改札は3階です）

※車の方は別途、お知らせいたします。

参加費：15,000円（含む施設使用料、24日夕食、25日朝食、その他）

参加可能人数：14名（お申し込みはお早目に）

持参する物：パジャマ、バスタオル、タオル、洗面用具、着替え等

※「手のひらに太陽の家」は、宿泊施設ではありません。寝具等はありませんが
その他、旅館にあるようなものはありません。必要なものはご持参ください。



主催：日本バウビオロギー研究会

問合せ・申込み先：（有）ひと・環境計画 濱田 ゆかり

E-mail：ecos@hitokankyo.com

TEL：042-452-7008

見学地

手のひらに太陽の家

宮城県登米市 設計:日影良孝 施工:サスティナライフ森の家



外でおもいっきり遊べない福島の子供達を受け入れるため2012年に造られた家です。短期滞在、長期滞在が可能。現在、福島の子供達と、自然と触れあいたい子供達の為に運営されています。地域材を使用した落し板工法で造られたこの建物は、環境配慮、健康配慮に重点を置き、化学物質を極力排除し、自然素材で仕上げました。

暖房は、ペレットボイラーです。家具はオーストリア製、チームセブンよりご寄付いただいた木製家具を使用しています。木の肌触りが心地良い、リラックスできる空間で、語らい、ゆっくり休んでください。バウビオロジー建築の本質が理解できると思います。第8回木の建築賞受賞

東北大学環境科学研究棟

エコラボ

宮城県仙台市 設計:佐々木文彦



大断面集成材を使わず、無垢の木材だけで造られていることに圧倒されます。このような大きな施設でも構造に無垢の木材が使えるということに感動しました。構造は、山田憲明氏。その他の建材も極力自然素材に近いものを選択し、環境と健康に配慮された建物です。

この研究棟の中では、色々な実験もされているそうです。是非、一度は見ていただきたい建物です。

第8回木の建築賞受賞

We Are One 北上

宮城県石巻市北上町 設計:佐々木文彦



「お母さん仲間でお店を始めたい」。始まりはこんな思いでした。津波の被害にあい多くの方が住んでいる仮設住宅「にっこりサンパーク」。近くにスーパーもなく、お年寄りには買い物もできない。そんな仮設住宅の人達のために、「にっこりサンパーク」の入り口に出来た産地直売のお店です。ここには仮設でのびのびできない子供達のために、子供ハウスも併設されています。アメリカの **Architecture for Humanity** という建築系の助成金に応募し最優秀プロジェクト賞を獲得。その資金援助で建てられました。

ササキ設計北上本社

宮城県石巻市北上町

設計:ササキ文彦

佐々木文彦氏が代表取締役を務める設計事務所の本社。3.11の津波で被害を被り、全損。残った基礎部分に新たに木造の事務所を建てました。元々ご自宅を兼ねた事務所でしたが、現在は、人が住んではいけない地域のため、事務所の目的で使用されています。

その他

- ・ワタママ食堂（調整中）
- ・日和見公園（石巻を一望できる公園）
- ・その他

東海亭

宮城県登米市

設計:佐々木文彦



山形庄内から築130年の土蔵を移築。

見事に再生された大きな土蔵は、うなぎ屋さんとなりました。

元々は鶴岡市内の米穀店の倉庫だったそうです。黒光りした36cmのけやきの大黒柱がそのお店の繁栄と当時の建築の様子を伺わせます。米穀店はなくなり、空き家となった倉庫は、建て壊しが決まっていたそうです。命が消えようとしていた建物を助け、再生し生き返らせる。移築の苦労等、お話しをお聞きしたいと思います。

栗駒の家

宮城県栗原市

設計:佐々木文彦

施工:クレア平塚



落とし板工法で施工された、工務店社長のご自宅兼、モデルハウス。

クレア平塚は、「宮城の風土、歴史に調和し、心身共に健康に生活することができる住まいを考える」という理念に基づき集まった「杜の家づくりネットワーク」のメンバー。その理念に基づき建てられた建物です。

穂波の家

宮城県大崎市古川

設計:佐々木文彦



この家の工事契約日は、3.11でした。

2010年から、大黒柱を自ら選び切り倒し、工事が始まるのを待ちわびていたその日。沿岸にあった製材所は津波被害に遭い、流されてしまったと思っていた大黒柱ですが、幸いにも乾燥のため高台の敷地に保管され無事でした。震災後の7月に着工。この家に携わった多くの人達の希望の建物となったことと思います。木組みの美しさと空気の流れを感じてみたいと思います。

住み継ぎの家

宮城県仙台市泉が岳

設計施工:サスティナライフ森の家



震災で被害にあい、廃材となりかけていた築150年の蔵。その古材を利用して、建てられました。生まれたばかりのお子さんの健康を気遣い、地域材を使用し、自然素材を使った本物の木の家が欲しいと思い、建てた家です。敷地は雑木林でしたが、更地にせず一部の木々を残したそうです。もう二度とできないだろうというブナのキッチンも見所です。敷地の環境も含めて、ご覧下さい。

プロフィール

佐々木文彦

ササキ設計代表。杜の家づくりネットワーク代表。NPO子民家再生協会 北海道・東北地区理事。1983年佐々木設計室設立。新建材や化学物質など、シックハウスの原因となる材料を使用せず、自然素材とムクの木を主な建築材料にし、現代の暮らしに合った「住みやすく、人にも自然環境にも負荷の少ない住まいづくり」を実践。里山の保全にもつながる地域材も積極的に利用し、森林見学会への参加などを通し、納得し愛着のもてる家づくりに取り組んでいる。また、古民家再生にも力を入れ、古民家の移築再生、リノベーション等も行っている。コンペ、コンクール受賞多数。

サスティナライフ森の家

代表取締役 大場江美。新しい会社ですが、元々社長、社員共、建築関係に携わっており、経験は豊富。社長も社員も長年、人の健康と、環境負荷の低減を考えた建築を志し、山の育成、木の活用を考慮にいれ、地域材を活用し、職人の知恵と技術の継承を生かした家を施工している。最近では、住宅のみならず、木造の店舗なども手がけている。

行 程

※事情により変更する場合があります。ご了承ください。

24日(金)

11:00 仙台駅 2階 ステンドグラス前

1. 東北大学環境科学研究棟 エコラボ (仙台)
2. 日和見公園 (石巻)
3. We Are One 北上 (北上町)
4. ササキ設計北上本社 (北上町)
5. 手のひらに太陽の家 (登米)
6. セミナー 佐々木文彦氏

25日(金)

1. 東海亭 (登米)
2. 栗駒の家 (栗原)
3. 昼食 利蔵庵 米澤屋 手打ちそば 古民家修復再生 (加美)
4. 穂波の家 (古川)
5. 住み継ぎの家 (仙台 泉ヶ岳)

16:40ごろ 仙台駅解散 (予定)

日本バウビオロギー研究会

〒371-0816 群馬県前橋市上佐鳥町460-1
前橋工科大学石川研究室内

URL <http://www.baubiologie.jp/>
